

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 173 2020. 6. 1

〒659-8511 兵庫県芦屋市六麓荘町 13-22 芦屋大学技術研究棟 若杉研究室  
日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 090-1026-1413 FAX:050-3488-5061  
E-mail: jsei@ashiya-u.ac.jp http://jsei.jp/home/

## 日本教育情報学会 第36回年会の開催にあたって

第36回年会実行委員長 皆川雅章（札幌学院大学）

『AI時代を見据えた教育の在り方』をテーマとして、8月の北海道に皆様をお迎えして第36回年会を開催するための準備を進めてまいりました。しかしながら、すでに会長からの通達および大会ホームページの案内にてご承知の通り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下のような変更を加えた上で実施することになりました。

- ・ 当日の課題研究、一般研究の口頭発表形式を中止する。
- ・ 当日のシンポジウム、懇親会を中止する。
- ・ 当日の学会賞表彰式や企業展示を中止する。

年会論文集を発行し、その発送をもって発表は成立するとし、日本教育情報学会第36回年会での研究発表実績として認定いたします。このような状況下での研究発表募集でしたが、120件を超える申し込みをしていただきました。会員各位のご理解に感謝申し上げます。

現在、全国の教育機関において、オンライン授業への対応および、その上での教育の質保証が課題となっています。本学では、講義開始を1カ月遅らせ、前期の講義はすべてオンライン対応とする決定をしています。大きな戸惑いの中、4月はCMSを用いた全学的なオンライン授業の立ち上げ準備に費やされ、5月以降は学生の反応を探りながら授業を試行している段階にあります。ネットを介しての学生の履修環境整備、修学指導などにおいて、従来とは異なる多くの問題に直面しているところです。

さて、先のニューズレターにおいて私は、『AIを冠した、情報サービス、情報処理ツールが、多くの場合には、その実体が正しく理解されないまま、日常生活に浸透しはじめていることも事実です。次の世代を生きる子供たち、若者たちが、これらのサービスやツールの基礎知識を持ち、提供された情報を無批判に受け入れることなく、主体的・理性的に活用できるようにしていくための、学校教育の方向性を探ることは我々にとって1つの課題であると考えます。』と記しました。

私見ながら、1カ月に及ぶ全学的なオンライン授業への取り組みを通じ、上記課題の解決に向けた迅速なアプローチの必要性を再認識いたしました。教える側にとっては、目の前の問題を解決しながら、これまでとは異なる授業の在り方を積極的に模索する良い機会なのかもしれません。今年度は会場で議論をしていただくことはできませんが、年会のテーマに基づき会員各位から投稿していただいた論文から、このよう課題へのアプローチに関して、さまざまな知見を得ていただけるものと思います。

例年とは大きく異なる年会開催方法にもかかわらず、会員各位から多数の研究発表申し込みをいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

## ◆第 36 回年会開催要項

期日：2020 年 8 月 22 日（土）、23 日（日）

会場：札幌学院大学

＜所在地＞〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地

問合せ先：http://jsei-nenkai.jp/?page\_id=24（年会 HP <http://jsei-nenkai.jp/>からリンク）

## ◆開催方法について

当日の会場での**口頭発表は中止**となりましたが、年会論文集を発行し、発表は発送をもって成立するとし日本教育情報学会第 36 回年会での研究発表実績として認定いたします。

## ◆年会開催までのスケジュール

○原稿提出期間	2020 年 6 月 1 日(月)～7 月 10 日(金)
○参加申込期間	2020 年 6 月 1 日(月)～8 月 7 日(金)
○論文郵送申込期間	2020 年 6 月 1 日(月)～8 月 7 日(金)

## ◆原稿提出方法

原稿は、年会 HP 内にごございます**執筆要綱**に従い作成していただき、PDF 形式に変換後、「原稿提出」フォームからご提出ください。

ファイル名は本ニューズレターに記載されている 4 桁の発表者コード（半角英数字）としてください。

より電子版を順次送付いたします。

## ◆年会参加方法

参加申し込みの際には、下記参加費等の振込完了後、年会 HP 内の「各種申込み」メニューから「参加申込」フォームを選択して参加手続きを行ってください。

### 【振込先】

銀行名：三菱 UFJ 銀行  
店番：483 芦屋支店  
口座番号：普通 0171778  
口座名義：日本教育情報学会 年会企画委員会

※振込名義は本人（参加申込者）としてください。

※大学ごとの団体振込、代理振込をされないようご注意ください。

同時期、本部事務局へ学会年会費を納入されるかと思いますが、振込先が異なっておりますのでお間違いのないようご注意ください、お振込みをお願いします。

◆各種費用について

○研究発表者（課題研究・一般研究）

参加費：3,000円（必須）、年会論文集費：4,000円（郵送費込み）

○年会論文集のみ購入される方

年会論文集費：4,000円（郵送費込み）

※年会論文集については年会開催日より順次発送いたします。

※領収書については年会開催日より電子版を順次送付いたします。

## ◆課題研究発表

テーマ：教育実践における知のサイクルと新たな学び（教育資料研究会）

コーディネーター：加藤直樹(岐阜大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)

- 1A01 絵本の読み聞かせによる幼児の興味を示した行動に関する研究Ⅳ  
－4つの背景画面と幼児個人の特性に着目して－  
高村真希(北陸学院大学)
- 1A02 教育実践の「知の増殖型サイクル」の究明Ⅱ－事例分析の結果と課題－  
齋藤陽子(岐阜女子大学)、興戸律子(岐阜大学)、  
加藤直樹(岐阜大学)、横山隆光(岐阜女子大学)
- 1A03 自己組織化マップを用いた児童の記憶想起の変容に関する研究  
古川美樹(武雄市立朝日小学校)、角和博(佐賀大学教育学部)、  
掛下哲郎(佐賀大学理工学部)
- 1A04 小学校での繰り返し学習による正答率の変化と学習内容  
横山隆光(岐阜女子大学)、大城李子(那覇市立宇栄原小学校)、  
外間千寿瑠(糸満市立西崎小学校)、久貝恵(豊見城市立ゆたか小学校)、  
亀川智洋(多良間村立多良間小学校)
- 1A05 小中学生におけるインターネット依存の問題と教育的支援についての考察  
竹内和雄(兵庫県立大学)、松山康成(広島大学)、安東茂樹(芦屋大学)

テーマ：教育・研究のグローバル化の現状と課題を再考する（国際交流研究会）

コーディネーター：陳那森(関西国際大学)、清水義彦(富山県立大学)

- 1B01 公立学校の授業でグローバル人材の素地を養う  
－普通科進学校でのICT+英語学習による生徒の意識の変容－  
清水義彦(富山県立大学)
- 1B02 自宅待機期間における新しいスキルの習得状況について  
孔雯嬌(曲阜師範大学)、袁広偉(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)
- 1B03 地域で親と暮らし通所施設を利用する中年期統合失調症者の老後の生活の備え  
－現在の生活状況と老後の生活に向け抱く思いと準備行動－  
井上聡子(東京医療学院大学)、関川久美子(国際医療福祉大学大学院)
- 1B04 中国における人口高齢化問題と介護市場の発展  
韓慧(曲阜師範大学)、袁広偉(曲阜師範大学)
- 1B05 反転授業手法の適用による国境を越えた教育接続における課題改善の試み  
陳那森(関西国際大学)、山下泰生(関西国際大学)
- 1B06 3日間で10進数概念を獲得するオンラインコンテンツの国内外での実践報告  
－オンラインケーキ屋さんでの擬似買い物を通して－  
上野真弓(家庭教育力研究所)
- 1B07 Petri-netによる同時通訳機能付きオンラインミーティングアプリの設計  
袁広偉(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)
- 1B08 Wechatによる共同購入の利用状況に関する一考察  
－新型コロナウイルス影響下の山東省濰坊市寿光を例に－  
馬婷婷(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)、袁広偉(曲阜師範大学)

テーマ：多様なデジタルアーカイブ化と価値創造（デジタルアーカイブ研究会）  
コーディネーター：井上透(岐阜女子大学)、皆川雅章(札幌学院大学)

- 1C01 オーラルヒストリーの手法を用いた地域図書館史研究の課題と展望  
－埼玉県和光市における移動図書館史調査から－  
石川敬史(十文字学園女子大学)、中岡貴裕(和光市役所)
- 1C02 地域資源のオープンデータ化のサイクルモデル構築に関する研究  
久世均(岐阜女子大学)
- 1C03 パーソナル・デジタルアーカイブの構成と管理手法(2)  
－自分史データベースによる地域の知の拠点形成－  
稲葉秀章(岐阜女子大学大学院 株式会社郡上ネット)、  
久世均(岐阜女子大学大学院)
- 1C04 北海道の郷土資料デジタルアーカイブ化－資料分類の検討－  
皆川雅章(札幌学院大学)
- 1C05 AI時代の博物館デジタルアーカイブ  
－eラーニングにおけるデジタルアーカイブの活用－  
井上透(岐阜女子大学)

テーマ：多様な受講者に対する ICT の効果的な活用（ICT 活用研究会）  
コーディネーター：河野敏行(岡山理科大学)、坂井岳志(八幡小学校)

- 1D01 オンラインによるプログラミング講義支援ツールについて  
－履修人数が増えた場合の対応など－  
河野敏行(岡山理科大学)
- 1D02 疑似体験学習としての 360 度映像の実用性の評価  
今井弘二(情報通信研究機構)
- 1D03 国語教育における ICT を活用した学びのふり回り  
－視覚情報を伴うふり回り活動が拓く学びの共有とその深化－  
星野祐子(十文字学園女子大学)、熊谷楓恋(さいたま市立馬宮中学校)、  
安達一寿(十文字学園女子大学)
- 1D04 在宅児童・生徒に向けてのオンライン学習の現状と可能性  
～国内外の取り組みを踏まえて～  
片柳木の実(調布市立若葉小学校)、小山万作(世田谷区立弦巻小学校)
- 1D05 新型コロナ禍の中から見えてきた日本の教育の課題  
－ICT 活用の試行錯誤から未来へ－  
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校)
- 1D06 動画を活用したプログラミング教育の教育効果について(2)  
－プログラミング体験講座による実践事例の分析を通して－  
新垣さき(沖縄女子短期大学)、大森洋介(一般社団法人ツクル)、  
平良直之(沖縄国際大学)、  
比嘉勇太(沖縄女子短期大学 産学連携推進センター)
- 1D07 発達段階に応じた情報セキュリティ教育のカリキュラムに対する考察  
増山一光(神奈川県立商工高等学校)

テーマ：困難さに応じたアシスティブ・テクノロジー（特別支援教育 AT 研究会）  
コーディネーター：小川修史(兵庫教育大学)、新谷洋介(北海道高等聾学校)

- 1E01 重症心身障害児者を対象とした欲求推測システムの開発  
－スマートスピーカーを活用した開発過程－  
荻田知則(愛媛大学)、古川善也(広島大学)、八木良広(愛媛大学)、  
和田義則(愛媛大学教育学部)、Herbuela Von Ralph Dane(愛媛大学)、  
佐伯龍雄(デジタルピア (株))、仙波周一郎(デジタルピア (株))
- 1E02 重度身体障害者の視線入力等を活用した eSpots 参加(3)  
－視線＋ワンボタンによるコンシューマ・ゲーム操作の展開－  
大杉成喜(皇學館大学)、栗木崇行(皇學館大学)、岡元雅(みやび Project)、  
小川忍(株式会社ユニコーン)、富田佳司(三重県立城山特別支援学校)
- 1E03 特別支援学校における新しいプログラミング教育を目指して  
－高等部職業パソコン班によるプログラミンによるモノづくり、  
販売会を目指しての実践より－  
中島栄之介(奈良学園大学)、佐野大地(兵庫県立芦屋特別支援学校)、  
渡邊宏樹(兵庫県立芦屋特別支援学校)、  
宇都宮広幸(兵庫県立芦屋特別支援学校)、  
河村有紀彦(兵庫県立芦屋特別支援学校)
- 1E04 特別支援教育での ICT 機器の利用を促進させるための  
オンライン動画に関する研究(2)  
金森克浩(日本福祉大学)、福島勇(福岡市立今津特別支援学校)、  
伊藤史人(島根大学)
- 1E05 特別支援教育に関わる養成段階を含む教員の相互作用による学びの研究  
太田容次(京都ノートルダム女子大学)、金森克浩(日本福祉大学)
- 1E06 プログラミング学習の内容と他の学習内容との関連  
－聞こえの困難な生徒に対する実践例－  
新谷洋介(金沢星稜大学)

テーマ：インスティテューショナル・リサーチの理論と実践（IR 研究会）  
コーディネーター：石井雅章(神田外語大学)、森雅生(東京工業大学)

- 1F01 英国の大学における教学 IR を中心とした教育の質保証マネジメント  
大関智史(旭川医科大学)、林秀(山口大学)、  
Castleton Stephen(Coventry University (UK))、  
Turner Andrew(Coventry University (UK))
- 1F02 教育・財務情報を繋ぐ仕組みの創出－財務データを用いた IR の実践－  
姉川恭子(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)、大石哲也(東京工業大学)
- 1F03 業務の電子化・可視化による業務改善の取り組み  
今井匠太郎(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)
- 1F04 在宅勤務における IR 業務－ネットワークセキュリティの観点から－  
大石哲也(東京工業大学)、高田英一(神戸大学)、森雅生(東京工業大学)
- 1F05 大学英語科目におけるスキル別習熟度を考慮したクラス編成の実践  
－機械学習による原案作成と分布の可視化による効率的な作業支援－  
西出崇(小樽商科大学)、近藤睦美(京都外国語大学)
- 1F06 大学経営および IR における永続的識別子の役割  
－ORCID, GRID, ROR の活用－  
森雅生(東京工業大学)

- 1F07 大学におけるレピュテーションマネジメントへの大学ランキングの  
活用の現状と課題について  
高田英一(神戸大学)、森雅生(東京工業大学)、大石哲也(東京工業大学)
- 1F08 入学前データを用いた中退学生における欠席パターンの導出  
白鳥成彦(嘉悦大学)
- 1F09 任意参加型プログラムの因果推論を用いた効果測定  
田尻慎太郎(北陸大学)

テーマ：新教育課程対応するプログラミング教育のあり方（プログラミング研究会）  
コーディネーター：山本利一(埼玉大学)、小熊良一(群馬大学)

- 1G01 音声アシスタントを活用したプログラミング教育の提案  
伊藤大河(共栄大学)、山本利一(埼玉大学)
- 1G02 検定済教科書における小学校プログラミング教育の取扱いの実態  
相澤崇(都留文科大学)
- 1G03 校外学習と連携した小学校プログラミング教育の実践  
小熊良一(群馬大学)、山本利一(埼玉大学)
- 1G04 小学校家庭科「調理の基礎」におけるプログラミング教育実践の検討  
阪東哲也(鳴門教育大学)、岩崎サオリ(鳴門教育大学附属小学校)、  
村田晋太郎(大阪教育大学)
- 1G05 プログラミング的思考を目的とした自己調整学習に関する研究(5)  
－自己調整学習モデルを取り入れた成果と課題－  
若杉祥太(芦屋大学)、中谷有里(芦屋大学)、納庄聡(嵯峨野高等学校)
- 1G06 プログラミング的思考の育成をめざした各教科での指導方法の検討  
－小学校でのプログラミング教育の導入を前に－  
納庄聡(嵯峨野高等学校)、若杉祥太(芦屋大学)、中谷有里(芦屋大学)
- 1G07 プログラミングを活用した小学校算数科「比例と反比例」の授業実践  
山本利一(埼玉大学)、渡部拓馬(いわき市平第五小学校)、  
小熊良一(群馬大学)、佐藤正直(北海道教育大学)
- 1G08 プログラミングの学習が神経可塑的变化に与える影響の検討  
本郷健(大妻女子大学)、八高隆雄(横浜国立大学)、  
鹿野利春(国立教育政策研究所)、宮崎美智子(大妻女子大学)、  
米山泰夫(大妻女子大学)、花川隆(国立精神・神経医療研究センター)

テーマ：学習者の意欲関心向上につながる授業設計や教材開発（教職開発研究会）  
コーディネーター：佐藤典子(甲子園大学)、治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)

- 1H01 栄養士養成課程におけるホログラムを活用した教育効果の向上  
治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)、市川雅美(元大阪夕陽丘学園短期大学)
- 1H02 家庭科教育の住生活分野における、地域とのつながりを意識した学習活動の研究  
－学校周辺の住環境調査を通して誰もが快適な暮らしを考える－  
堀木実(京都市立京都工学院高等学校)、藤本光司(芦屋大学)
- 1H03 キャリア創造学科メイク実習における 3D プリンタ教育媒体の利用  
白坂文(大阪夕陽丘学園短期大学)、岡千衣(大阪夕陽丘学園短期大学)、  
青山佐喜子(大阪夕陽丘学園短期大学)、治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)
- 1H04 地域社会の担い手を育成する小中学校の授業設計  
－地域課題の解決に向けた取り組みに焦点をあてて－  
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校)

- 1H05 ビデオ会議システムを活用した効果的な授業技術に関する実践  
林徳治(甲子園大学)、黒川マキ(大阪学院大学)
- 1H06 IC タグを備えた食品模型の活用  
佐藤典子(甲子園大学)
- 1H07 ICT を活用した異世代交流地域貢献  
三田薫(実践女子大学短期大学部)

## ◆一般研究発表

- 2A01 インタラクティブゲーム教材によるスポーツマネジメント教育の試行  
伊藤大河(共栄大学)、田蔵奈緒(東洋学園大学)
- 2A02 江戸時代と現代の環境問題に関する考察  
池田聡(芦屋大学)
- 2A03 エクセルによる小学校低学年算数加減算課題マスター支援システム  
－教材プリント作成支援システム－  
岡部建次(次世代発展総合研究所)、佐藤稔(次世代発展総合研究所)
- 2A04 遠隔授業を利用した演習授業の実現方法と有効性に関する実証的研究  
山下泰生(関西国際大学)、陳那森(関西国際大学)
- 2A05 音声教材 UNLOCK の提供状況と提供の課程  
－教育現場における聴覚・音声情報中心の教材の必要性を再考する－  
荻田知則(愛媛大学)、八木良広(愛媛大学)、  
Herbuela Von Ralph Dane(愛媛大学)、和田義則(愛媛大学)、  
村上沙耶佳(愛媛大学)
- 2A06 オンライン授業に対する保護者評価の分析  
荒木貴之(武蔵野大学)、野田啓子(ドルトン東京学園中等部高等部)、  
堀田龍也(東北大学大学院情報科学研究科)
- 2A07 オンライン授業を支える階層的な教育情報システム  
加藤直樹(岐阜大学教育学部)、臼井悠一(岐阜大学)
- 2A08 学習者の性格特性からみるオンライン授業の適性について  
加藤亮介(十文字学園女子大学)、新行内康慈(十文字学園女子大学)、  
東畑開人(十文字学園女子大学)、安達一寿(十文字学園女子大学)
- 2A09 学生の質向上のための内的環境分析  
－出願までのプロセスと入学後の PROG テスト分析結果との関係性－  
鬼木一直(東京富士大学)
- 2A10 仮説的推論を活用した学習デザインによる児童の学習記録の変容  
埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校)、及川浩和(中日本自動車短期大学)、  
山崎宣次(山梨県立大学)、加藤直樹(岐阜大学)
- 2A11 技術科(生物育成)に関する地域連携題材の現状と課題  
岸本卓朗(芦屋大学大学院)
- 2A12 基礎学力の向上をはかる漢字の書き取りができる児童の育成を目指して  
－ICT 機器の効果的な学習の活用方法を通して－  
谷川泰子(一宮市立千秋南小学校)
- 2A13 キャリア教育と学校図書館にかかわる－考察  
須藤崇夫(埼玉県立岩槻商業高等学校)
- 2A14 教員の ICT 活用指導力の向上をめざした実践的研究(2)  
木原裕紀(大阪府立寝屋川高等学校)、小柴慶太(salesforce.com Co.,Ltd.)、  
若杉祥太(芦屋大学)、林徳治(甲子園大学)
- 2A15 教職課程における第三者の評価を伴う情報教育の効果  
－実践的な ICT 活用の意識改革－  
松山恵美子(淑徳大学)、石野邦仁子(淑徳大学)
- 2A16 グループウェアを用いた非対面式ゼミにおける信頼関係の構築  
－Slack を用いたゼミ運営の有効性と課題－  
藤巻貴之(目白大学)、立野貴之(松蔭大学)
- 2A17 グループサイズと未・既読状態によるグループ LINE での不安と罪悪の発生  
－LINE 依存との関係－  
加藤尚吾(東京女子大学)、加藤由樹(相模女子大学)、立野貴之(松蔭大学)



- 2A35 小学校外国語教育における人材育成の課題と支援策  
     －教室英語表現のデジタルアーカイブ開発を通して－  
     又吉斎(沖縄女子短期大学)
- 2A36 小学校初任教師の経験学習を促す校内環境に関する事例研究  
     －環境設計者としての管理職へのインタビュー調査を通して－  
     日比光治(兵庫教育大学大学院(岐阜県教育委員会))、益子典文(岐阜大学)
- 2A37 小学校における情報セキュリティに関する実態  
     小熊良一(東京学芸大学大学院)、山本利一(埼玉大学教育学部)
- 2A38 新学習指導要領における体系的な情報教育に向けた教材の提案  
     工藤雄司(茨城大学)、本村猛能(日本工業大学)、山本利一(埼玉大学)、  
     森山潤(兵庫教育大学大学院)、横山駿也(鶴ヶ島市立西中学校)
- 2A39 新学習指導要領に向けての情報教育の方向性  
     －日本、インドネシア、スロベニア、アメリカの比較研究を通して－  
     本村猛能(日本工業大学)、森山潤(兵庫教育大学大学院)、  
     山本利一(埼玉大学)、角和博(佐賀大学)、工藤雄司(茨城大学)
- 2A40 正課授業としてのインターンシップが学生生活の充実に  
     与える影響についての一考察  
     田中聖華(横浜商科大学)、石橋嘉一(横浜商科大学)、立野貴之(松蔭大学)
- 2A41 総合的な探究の時間における探究的な学習の実践と評価  
     登本洋子(桐蔭学園高等学校)
- 2A42 対象児の特性とその周りの環境との不整合に  
     教師が気づくことができるシステムの開発  
     藤岡昂大(兵庫教育大学)、小川修史(兵庫教育大学)、  
     山岸菜茄(兵庫教育大学)
- 2A43 タブレットのソフトウェアキーボードを日常的に活用している  
     学級への外付けキーボード導入時における実態調査  
     渡邊光浩(鹿児島女子短期大学)、  
     堀田雄大(文部科学省初等中等教育局教育課程課)、佐藤和紀(信州大学)、  
     椎井慎太郎(新潟大学附属新潟小学校)、  
     桑原浩二(新潟大学附属新潟小学校)、手塚和佳奈(常葉大学)、  
     柴田隆史(東京福祉大学)、堀田龍也(東北大学大学院)
- 2A44 大情報ビジネスコースにおける「情報学」を学ぶ授業科目の実践事例  
     森屋裕治(名古屋女子大学短期大学部)
- 2A45 中学校技術科の教職課程における課題と展望(2)  
     藤本光司(芦屋大学)、盛谷亨(芦屋大学)、安東茂樹(芦屋大学)
- 2A46 中学校理科の日常的な ICT 活用における生徒の意識に関する調査  
     大西琢也(東京学芸大学附属小金井中学校/東京学芸大学)、  
     高橋純(東京学芸大学)
- 2A47 低・中所得国・地域における初等中等教育の  
     コンピュータサイエンス教育に関する導入状況  
     小田理代(東北大学大学院)、登本洋子(桐蔭学園高等学校)、  
     堀田龍也(東北大学大学院)
- 2A48 テクノロジーの活用が「豊かな学び」に与える影響  
     及川浩和(中日本自動車短期大学)、加藤直樹(岐阜大学)、  
     山崎宣次(山梨県立大学)、埴岡靖司(山梨市立高富小学校)
- 2A49 デジタルコンテンツ制作に向けた情報デザイン教育の提案  
     岩佐美紅(共栄大学)、中山雄太(共栄大学)、伊藤大河(共栄大学)
- 2A50 電子透かし付き顔画像とメッセージ認証による学生証の個人認証  
     金幸郁(松蔭大学)、立野貴之(松蔭大学)、岸康人(松蔭大学)



- 2A69 College Analysis への医療統計手法の組み込み  
奥田由紀恵(福山平成大学)、福井正康(福山平成大学)、  
永井純子(福山平成大学)
- 2A70 IR 担当者の専門性と執行部の期待－公立大学の聞き取り調査を中心に－  
橋本智也(大阪市立大学大学教育研究センター)、  
白石哲也(山形大学学士課程基盤教育機構)
- 2A71 Javascript による 3 次元幾何アニメーション表示の高速化  
尾崎誠(福山平成大学)
- 2A72 Second Life を利用した英語スピーキングの遠隔授業の実践  
Madden Anthony(神田外語学院)、立野貴之(松蔭大学)、  
岸康人(松蔭大学)、金宰郁(松蔭大学)、山池ますみ(神田外語学院)
- 2A73 Teams を用いた 3 科目のオンライン授業の比較  
小松香爾(文京学院大学)、小松香爾(文京学院大学)
- 2A74 Web システム試験による学習意欲への効果－情報教育科目での実践－  
石野邦仁子(淑徳大学)、松山恵美子(淑徳大学)

\*\*\*\*\* お知らせ \*\*\*\*\*

◆年会費納入のお願い

2020 年度学会年会費の納入期限は 6 月末となっております。納入がお済みでない方は、納入手続きの程よろしくお願いたします。

お支払いいただいた際の振込金受領書は大切に保管してください。その他、会費お支払い等についてご不明な点のある方は、事務局までお問い合わせください。

**【振込先 (年会費)】**

銀行名	:	ゆうちょ銀行
金融機関コード	:	9900
支店名	:	〇八九 (ゼロハチキュウ)
支店コード	:	089
口座番号	:	00840 5 133924 (当座 : 0133924)
加入者名	:	日本教育情報学会
金額	:	専門会員 10,000 円、一般会員 7,000 円、学生会員 4,000 円

◆「教育情報研究」投稿募集

日本教育情報学会では年間 3 冊の学会論文誌「教育情報研究」を発行しております。掲載内容は教育情報に関する原著論文をはじめ下記の論文を掲載しています。

投稿方法等詳細については、学会 HP をご参照ください。

○論説・解説    ○論文    ○実践論文    ○研究報告    ○その他

◆ご登録の住所・勤務先等の変更について

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、学会 HP 内のお問合せ>会員登録情報変更より変更手続きを必ず行ってください。